

# 県営住宅（野木和団地） 2号棟 屋根・外壁改修工事

設 計 図

令和 5 年 9 月

設 計 株式会社中嶋五郎設計事務所

県営住宅（野木和団地）2号棟 屋根・外壁 改修工事特記仕様書

I．工事概要

1. 工事場所

青森県青森市大字羽白字沢田 地内

2. 敷地面積

3. 工事種目

(I) 県営住宅 R C造 4階建 改修 1棟

延べ面積

1.815.78㎡

(5)電気設備（別図仕様書による）一式

4. 指定部分

・有 ・無 対象部分（  
指定部分工期 年 月 日

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。  
・「3. 工事種目」のうち の工事範囲は下記のとおりとする。

II．建築改修工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和 7年版（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書のうち、○を付けたものを適用する。

○建築工事標準詳細図（令和 7年版）（以下「標準詳細図」という。）  
○建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事を含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ／ ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ ／ ）図による。

(3) 本特記仕様書の表記  
1) 項目は、○印の付いたものを適用する。  
2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。  
3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
4) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
5) ☐印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものとする。

項 目

特 記 事 項

○ 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。  
○風圧力  
風速 (V= 34 m/s)  
地表面粗度区分 （Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ）  
○積雪荷重  
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表（青森県）180cm

・ 施工条件

・ 施工順序 (1.3.5)[1.3.5]  
（※現場説明書による ・図示）  
・ 工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所（ ・図示）

○ 環境への配慮

(1.4.1)[1.4.1]  
  
1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。  
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。  
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。  
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く）が添加されていない材料を使用する。  
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。  
  
○ 材料の品質等 (1.4.2)[1.4.2]  
  
1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。  
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。  
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。  
4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。  
① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。  
② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。  
③ 安定的な供給が可能であること。  
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。  
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。  
⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。  
5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料  
x1l,a0.25.sm1,q1,t0:床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既製鋼合モルタル（タイル工専用）、既製鋼合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、錠前類、クローザー類、自動ドア機構、自閉式吊り引戸機構（手動開き式）、重量シャッター、  
sm1.18:軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切り、移動間仕切り、トイレブース、煙突用成形、ライニング材、床口金、床床検口、グレーチング、トップライト、屋上緑化システム、ポリマーセメントモルタル、鋳鉄製ふた

・ 石綿含有建材の調査 [1.5.1]  
調査  
※石綿含有建材の事前調査  
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。  
貸与資料（・アスベスト関係材料調査票 ・既存図面 ・

・ 化学物質の濃度測定 (1.5.9)[1.7.9]  
  
1) 施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、 エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。  
2) 測定対象室及び測定箇所数等は現場説明書による。  
3) 測定方法は、現場説明書による。  
4) 測定結果の報告は、現場説明書による。

・ 埋設配管・配線および鉄筋調査

あと施工アンカー工事  
6章および8章による  
コア抜き、はつり工事等  
※既存資料調査  
・探査機（電磁波レーダー法又は電磁誘導法）による探査  
配管 ・配線等の位置の墨出を行う  
範囲  
※図示による  
・放射線透過試験  
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。  
1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。  
2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。  
3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。  
4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けけるものの有無を確認する。  
5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないよう措置を講ずる。  
撮影枚数 枚  
フィルムサイズ  
コンクリート厚さ cm

2 仮設工事

○ 騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]  
・防音パネル  
・防音シート  
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲  
・図示による

○ 足場等 [2.2.1][表 2.2.1]  
  
『「手すり先行工法に関するガイドライン」について』（厚生労働省 平成21年4月24日）の『（別紙）手すり先行工法等に関するガイドライン』に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2(2)の手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。  
  
外部足場  
○設置する  
（設置範囲 ○工事に必要な範囲 ・図示による ・）  
・設置しない  
防護シート  
○設置する  
（設置範囲 ○工事に必要な範囲 ・図示による ・）  
・設置しない  
内部足場  
・設置する  
（※脚立、足場板等 ・）  
・設置しない  
・材料、搬去材等の運搬方法  
種類（・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種）  
C種：利用可能なエレベーター（ ・図示による ・）  
D種：利用可能な階段（ ・図示による ・）

○ 既存部分の養生 [2.3.1]  
  
養生方法等  
○既存部分  
養生方法（※ビニルシート、合板 ・）  
・既存家具、既存設備等  
養生方法（※ビニルシート等 ・）  
・既存ブラインド、カーテン等  
養生方法（ ・ビニルシート等 ・）  
保管場所（ ・図示による ・）  
・固定された備品、机、ロッカー等の移動  
・図示による  
  
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。  
  
・ 仮設間仕切り [2.3.2][表 2.3.1]  
  
仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所  
・図示による  
  
仮設間仕切りの種別と材質等  

種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填
・A種	・せっこうボード 種類（ ・） 厚さ（ ・ mm ※9.5mm） ・合板	・無し ・片面 ・	グラスウール 厚さ mm
・B種	・材種（ ・） 厚さ（ ・ mm ※9mm） ・		
※C種	防煙シート		

  
仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等  

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※木製	※合板張り程度	・無し ・片面	・ か所 ・ 図示による
・	・		

3 防水改修工事

・ 施工数量調査 [1.6.2、3]  
  
調査範囲  
・図示による  
  
調査方法  
・図示による  
  
既存部分の破壊を行った場合の補修方法  
・図示による  
  
調査報告書（提出部数 ・2部 ・）

・ 降雨等に対する養生方法（とい共） [3.1.3]  
  
※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による  
・

・ 既存防水の処理 [3.1.4][3.2.3、4、6]  
  
既存保護層の撤去  
・行う（範囲 ・図示による ・）  
・行わない  
  
既存防水層の撤去  
・行う（範囲 ・図示による ・）  
・行わない  
  
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去  
・行う（ ・MAAS ・M4AS1 ・M4C ・M4DI ・L4X）  
・行わない

・ 既存下地の処理 [3.2.6]  
  
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等  
・図示による  
  
POS工法及びPPOS工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置  
※改修標準仕様書3.2.6(4)(㉞)(g)①～③による  
・  
  
設備機器架台、配管受部、バラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理  
※監督職員と協議する  
・図示による

1 各章共通事項

○ 断熱材 [G] 絶縁用シート  
※8 リシラップ/A4  
厚さ0.15mm以上  
又はフラットヤークロ  
70g/m<sup>2</sup>程度  
・  
・P2A  
・A-1  
・A-2  
・A-3  
・B-1  
・B-2  
・P1B  
・A1-1  
・A1-2  
・A1-3  
・P1B I  
・B1-1  
・B1-2  
(種類)  
※JIS A 9521に基づく押出法8'リサ  
レフォーム断熱材3種BA（ネー層付き）  
(厚さ)(mm)  
・  
・

改質アスファルトルーフィングシーツの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.9による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料による区分 ※R種  
厚さ（ ）mm以上  
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシーツの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.9による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料による区分 ※R種  
厚さ（ ）mm以上  
平場の保護コンクリートの厚さ  
こて仕上げ ※水下 80mm以上  
  
床タイル張り ※水下 6

・改質アスファルトシート防水

屋根露出防水（既存）  
新設防水層の種類

[3.4.2、3]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材④	仕上塗料		高日射 反射率 防水⑤	備考
				種類	使用量		
・M4AS	・AS-T1		<div></div>	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	
	・AS-T2						
	・AS-J2						
・M3AS	・AS-T3		<div></div>	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・AS-T4						
	・AS-J1						
・POAS	・AS-T3		<div></div>	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・AS-T4						
	・AS-J1						
	・AS-J3						
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・AS1-T1		改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ) ・ (厚さ) (mm) ・	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 ※R種  
厚さ ( )mm以上  
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 ※R種  
厚さ ( )mm以上  
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 ※R種  
厚さ ( )mm以上  
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法  
※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度  
・  
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定  
  
設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)  
  
絶縁断熱工法の防湿用シート  
・設置する  
・設置しない

新設防水層の種類

[3.5.2～4] [表3.5.1～3]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材④	仕上塗料		高日射 反射率 防水⑤	備考		
				種類	使用量				
・POS ・S4S	・S-F1		<div></div>	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない		
	・S-F2			<div></div>	・主材料の製造所の仕様				
	・S-M1								
	・S-M2								
	・S-F1	・ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地		・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける		
・S3S	・S-F2	・ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地		<div></div>	・主材料の製造所の仕様				
	・S-M1				・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない			
・M4S	・S-M1		<div></div>	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様			※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様		
	・S-M2			<div></div>	・主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない		

シリーing改修工法の種類  
○シリーing充填工法  
○シリーing再充填工法  
・拡幅シリーing再充填工法  
・ブリッジ工法  
ポンドプレーカー張り  
・適用する ・適用しない  
エッジング材張り  
・適用する ・適用しない

・塗装防水

新設防水層の種類

[3.6.2、3]

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		高日射 反射率 防水⑤	備考
			種類	使用量		
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・L4X ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※主材料の製造所の仕様  
  
設置数量 ※主材料の製造所の仕様 (個)

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・PIY	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない
・PZY	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない

シリーing改修工法の種類 [3.1.4] [3.7.2、3、7、8]  
○シリーing充填工法  
○シリーing再充填工法  
・拡幅シリーing再充填工法  
・ブリッジ工法  
ポンドプレーカー張り  
・適用する ・適用しない  
エッジング材張り  
・適用する ・適用しない

○ シリーing

4  
外壁  
改修工事  
共通事項①

○ 施工数量調査

[1.6.2、3]

調査範囲  
○外壁改修範囲  
・図示による

・改質アスファルトシート防水

屋根露出防水（既存）  
新設防水層の種類

[3.4.2、3]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材④	仕上塗料		高日射 反射率 防水⑤	備考
				種類	使用量		
・M4AS	・AS-T1		<div></div>	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	
	・AS-T2						
	・AS-J2						
・M3AS	・AS-T3		<div></div>	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・AS-T4						
	・AS-J1						
・POAS	・AS-T3		<div></div>	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・AS-T4						
	・AS-J1						
	・AS-J3						
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・AS1-T1		改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ) ・ (厚さ) (mm) ・	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 ※R種  
厚さ ( )mm以上  
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 ※R種  
厚さ ( )mm以上  
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 ※R種  
厚さ ( )mm以上  
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法  
※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度  
・  
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定  
  
設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)  
  
絶縁断熱工法の防湿用シート  
・設置する  
・設置しない

新設防水層の種類

[3.5.2～4] [表3.5.1～3]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材④	仕上塗料		高日射 反射率 防水⑤	備考		
				種類	使用量				
・POS ・S4S	・S-F1		<div></div>	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない		
	・S-F2			<div></div>	・主材料の製造所の仕様				
	・S-M1								
	・S-M2								
	・S-F1	・ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地		・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける		
・S3S	・S-F2	・ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地		<div></div>	・主材料の製造所の仕様				
	・S-M1				・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない			
・M4S	・S-M1		<div></div>	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様			※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様		
	・S-M2			<div></div>	・主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない		

シリーing改修工法の種類  
○シリーing充填工法  
○シリーing再充填工法  
・拡幅シリーing再充填工法  
・ブリッジ工法  
ポンドプレーカー張り  
・適用する ・適用しない  
エッジング材張り  
・適用する ・適用しない

・塗装防水

新設防水層の種類

[3.6.2、3]

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		高日射 反射率 防水⑤	備考
			種類	使用量		
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・L4X ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※主材料の製造所の仕様  
  
設置数量 ※主材料の製造所の仕様 (個)

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・PIY	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない
・PZY	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない

シリーing改修工法の種類 [3.1.4] [3.7.2、3、7、8]  
○シリーing充填工法  
○シリーing再充填工法  
・拡幅シリーing再充填工法  
・ブリッジ工法  
ポンドプレーカー張り  
・適用する ・適用しない  
エッジング材張り  
・適用する ・適用しない

○ シリーing

4  
外壁  
改修工事  
共通事項①

○ 施工数量調査

[1.6.2、3]

調査範囲  
○外壁改修範囲  
・図示による

・改質アスファルトシート防水

屋根露出防水（既存）  
新設防水層の種類

[3.4.2、3]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材④	仕上塗料		高日射 反射率 防水⑤	備考
				種類	使用量		
・M4AS	・AS-T1		<div></div>	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	
	・AS-T2						
	・AS-J2						
・M3AS	・AS-T3		<div></div>	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・AS-T4						
	・AS-J1						
・POAS	・AS-T3		<div></div>	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・AS-T4						
	・AS-J1						
	・AS-J3						
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・AS1-T1		改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ) ・ (厚さ) (mm) ・	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 ※R種  
厚さ ( )mm以上  
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 ※R種  
厚さ ( )mm以上  
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 ※R種  
厚さ ( )mm以上  
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法  
※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度  
・  
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定  
  
設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)  
  
絶縁断熱工法の防湿用シート  
・設置する  
・設置しない

新設防水層の種類

[3.5.2～4] [表3.5.1～3]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材④	仕上塗料		高日射 反射率 防水⑤	備考		
				種類	使用量				
・POS ・S4S	・S-F1		<div></div>	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない		
	・S-F2			<div></div>	・主材料の製造所の仕様				
	・S-M1								
	・S-M2								
	・S-F1	・ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地		・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける		
・S3S	・S-F2	・ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地		<div></div>	・主材料の製造所の仕様				
	・S-M1				・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない			
・M4S	・S-M1		<div></div>	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様			※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様		
	・S-M2			<div></div>	・主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない		

シリーing改修工法の種類  
○シリーing充填工法  
○シリーing再充填工法  
・拡幅シリーing再充填工法  
・ブリッジ工法  
ポンドプレーカー張り  
・適用する ・適用しない  
エッジング材張り  
・適用する ・適用しない

・塗装防水

新設防水層の種類

[3.6.2、3]

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		高日射 反射率 防水⑤	備考
			種類	使用量		
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・L4X ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※主材料の製造所の仕様  
  
設置数量 ※主材料の製造所の仕様 (個)

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・PIY	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない
・PZY	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない

シリーing改修工法の種類 [3.1.4] [3.7.2、3、7、8]  
○シリーing充填工法  
○シリーing再充填工法  
・拡幅シリーing再充填工法  
・ブリッジ工法  
ポンドプレーカー張り  
・適用する ・適用しない  
エッジング材張り  
・適用する ・適用しない

○ シリーing

4  
外壁  
改修工事  
共通事項①

○ 施工数量調査

[1.6.2、3]

調査範囲  
○外壁改修範囲  
・図示による

・改質アスファルトシート防水

屋根露出防水（既存）  
新設防水層の種類

[3.4.2、3]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材④	仕上塗料		高日射 反射率 防水⑤	備考
				種類	使用量		
・M4AS	・AS-T1		<div></div>	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	
	・AS-T2						
	・AS-J2						
・M3AS	・AS-T3		<div></div>	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・AS-T4						
	・AS-J1						
・POAS	・AS-T3		<div></div>	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・AS-T4						
	・AS-J1						
	・AS-J3						
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・AS1-T1		改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ) ・ (厚さ) (mm) ・	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 ※R種  
厚さ ( )mm以上  
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 ※R種  
厚さ ( )mm以上  
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 ※R種  
厚さ ( )mm以上  
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法  
※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度  
・  
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定  
  
設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)  
  
絶縁断熱工法の防湿用シート  
・設置する  
・設置しない

新設防水層の種類

[3.5.2～4] [表3.5.1～3]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材④	仕上塗料		高日射 反射率 防水⑤	備考		
				種類	使用量				
・POS ・S4S	・S-F1		<div></div>	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない		
	・S-F2			<div></div>	・主材料の製造所の仕様				
	・S-M1								
	・S-M2								
	・S-F1	・ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地		・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける		
・S3S	・S-F2	・ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地		<div></div>	・主材料の製造所の仕様				
	・S-M1				・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない			
・M4S	・S-M1		<div></div>	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様			※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様		
	・S-M2			<div></div>	・主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない		

シリーing改修工法の種類  
○シリーing充填工法  
○シリーing再充填工法  
・拡幅シリーing再充填工法  
・ブリッジ工法  
ポンドプレーカー張り  
・適用する ・適用しない  
エッジング材張り  
・適用する ・適用しない

・塗装防水

新設防水層の種類

[3.6.2、3]

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		高日射 反射率 防水⑤	備考
			種類	使用量		
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・L4X ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※主材料の製造所の仕様  
  
設置数量 ※主材料の製造所の仕様 (個)

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・PIY	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない
・PZY	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない

シリーing改修工法の種類 [3.1.4] [3.7.2、3、7、8]  
○シリーing充填工法  
○シリーing再充填工法  
・拡幅シリーing再充填工法  
・ブリッジ工法  
ポンドプレーカー張り  
・適用する ・適用しない  
エッジング材張り  
・適用する ・適用しない

○ シリーing

4  
外壁  
改修工事  
共通事項①

○ 施工数量調査

[1.6.2、3]

調査範囲  
○外壁改修範囲  
・図示による

・改質アスファルトシート防水

屋根露出防水（既存）  
新設防水層の種類

[3.4.2、3]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材④	仕上塗料		高日射 反射率 防水⑤	備考
				種類	使用量		
・M4AS	・AS-T1		<div></div>	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	
	・AS-T2						
	・AS-J2						
・M3AS	・AS-T3		<div></div>	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・AS-T4						
	・AS-J1						
・POAS	・AS-T3		<div></div>	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・AS-T4						
	・AS-J1						
	・AS-J3						
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・AS1-T1		改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ) ・ (厚さ) (mm) ・	・改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※改質ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

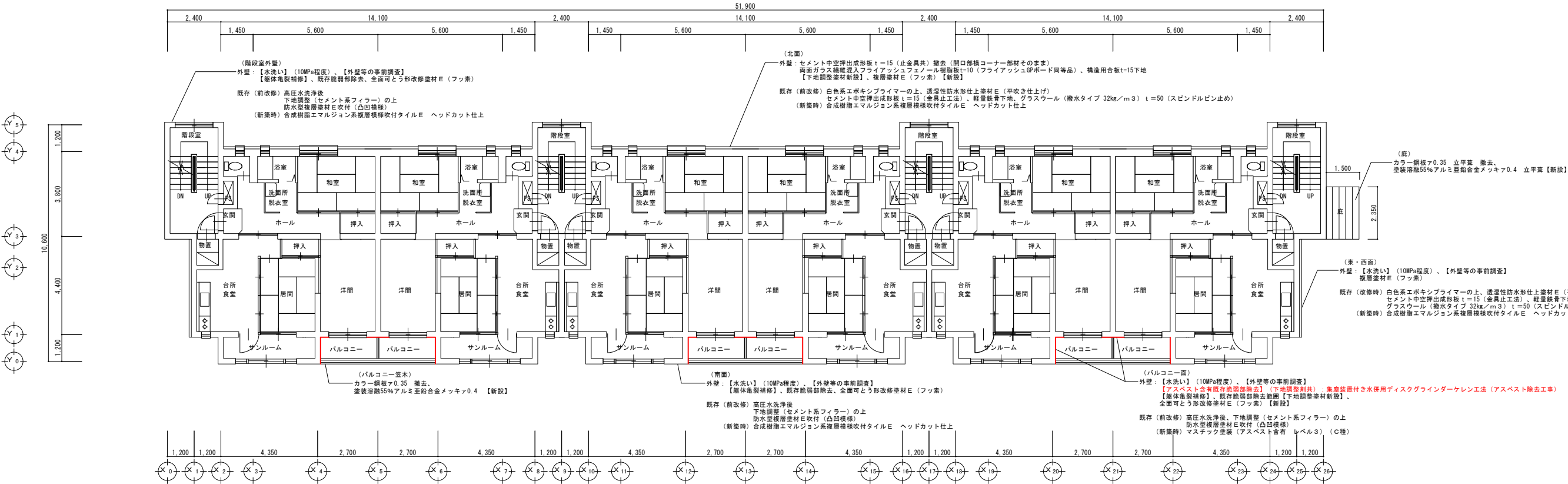
[illegible]

[illegible]



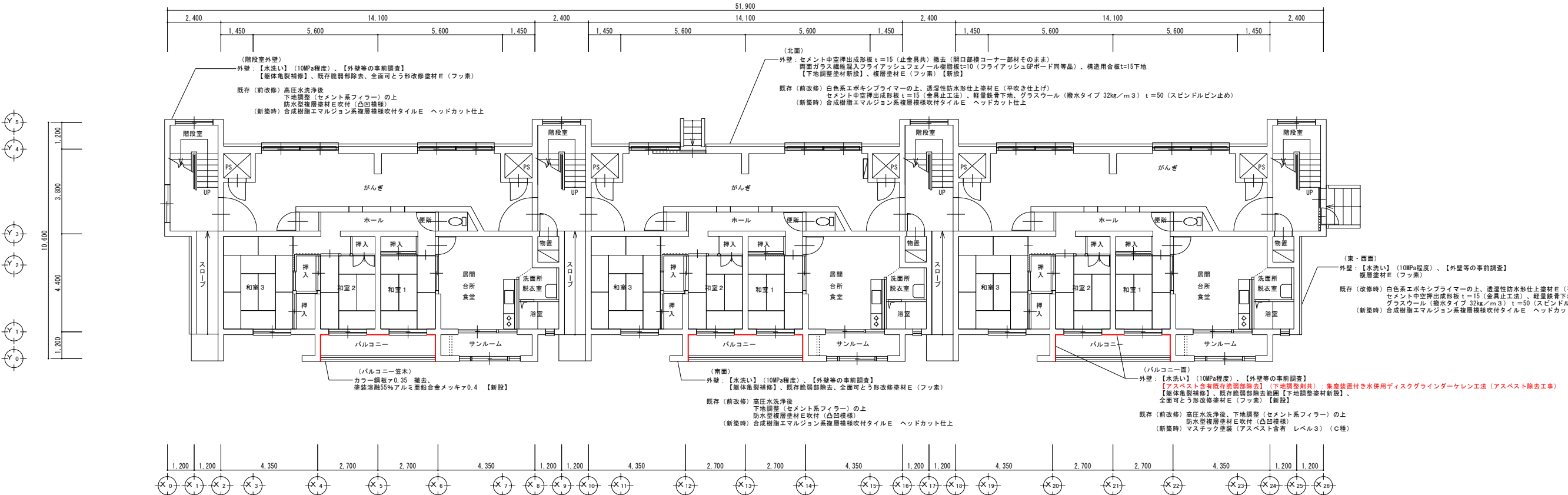




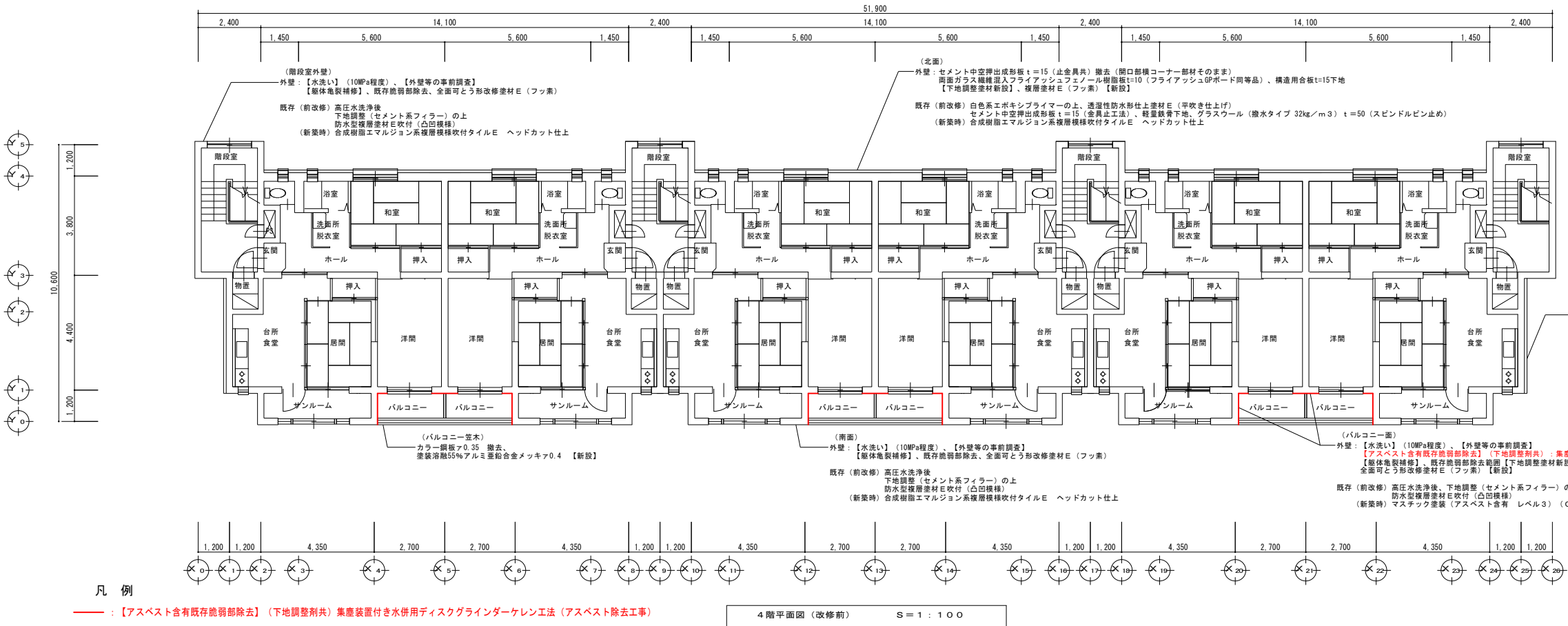
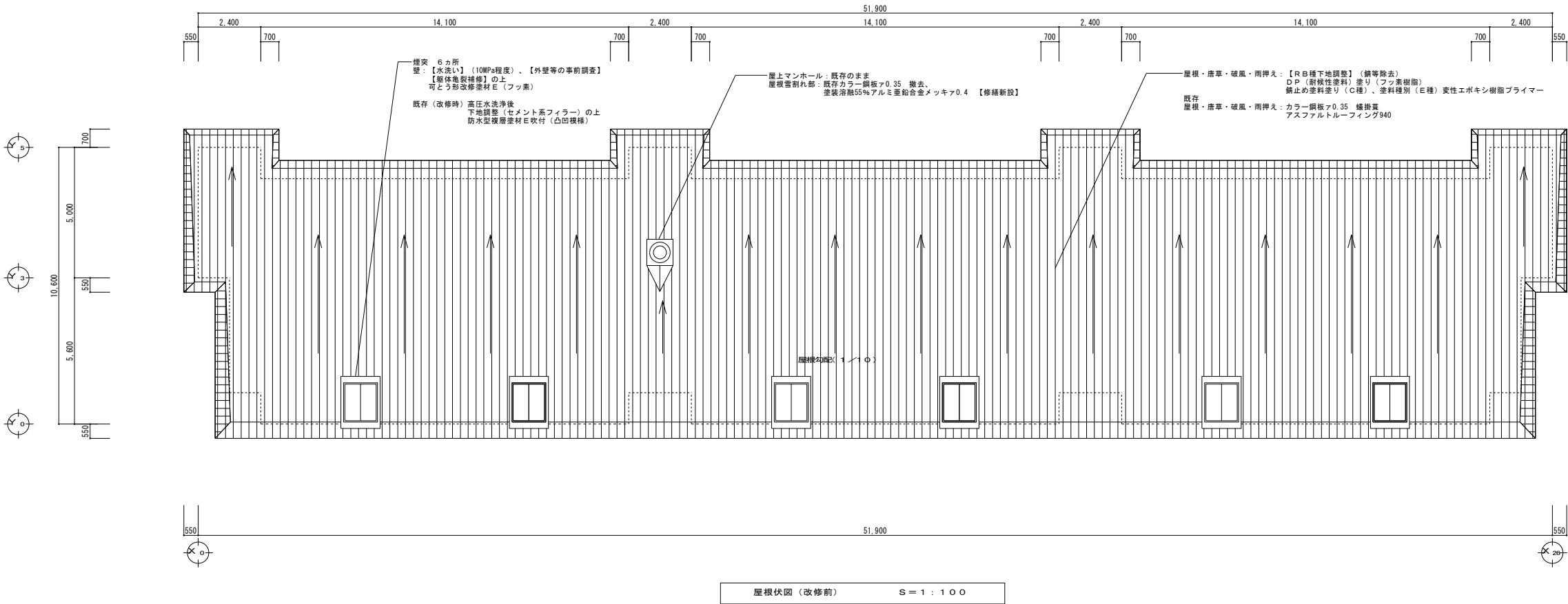


凡 例

——：【アスベスト含有既存脆弱部除去】（下地調整剤共）集塵装置付き水併用ディスクグラインダーケレン工法（アスベスト除去工事）








凡 例

——：【アスベスト含有既存脆弱部除去】（下地調整剤共）集塵装置付き水併用ディスクグラインダーケレン工法（アスベスト除去工事）

備 考	



株式会社 中嶋五郎設計事務所  
一級建築士登録第187189号 石岡 明彦  
設備設計一級建築士証交付第3204号

一級建築士事務所 青森県知事登録 A1 第900号 〒030-0861 青森市長島4丁目2番18号 TEL:017-723-3501 FAX:017-723-3502	設計年月日 05.09	No. A-104	工 事 名 県営住宅（野木和団地）2号棟 屋根・外壁改修工事	図面名称 4階平面図・屋根伏図	SCALE 1/100 1/200 (A3)
---	----------------	--------------	-----------------------------------	--------------------	------------------------------

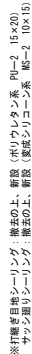


凡 例

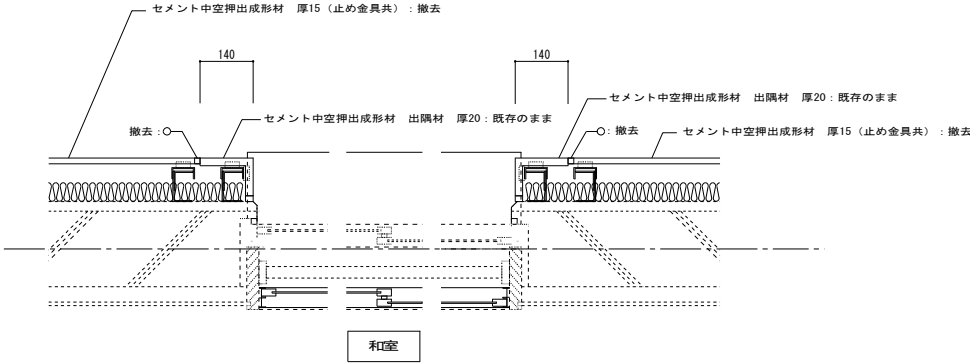
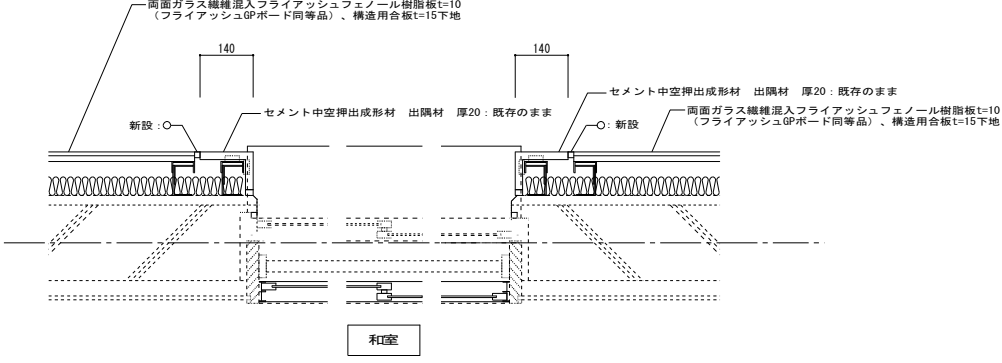
- セメント中空押出成形板撤去  
両面ガラス繊維混入フライアッシュフェノール樹脂板t=10（フライアッシュGPボード同等品）新設
- 集塵装置付き水併用ディスクグラインダーケレン工法（アスベスト除去工事）



—【7】—



※打鍵ぎ目地シーリング：撤去の上、新設（ポリウレタン系 PU-2 15×20）  
 サッシ廻りシーリング：撤去の上、新設（変成シリコン系 MS-2 10×15）

北側外壁開口部詳細図（２Ｆ～４Ｆ、北側和室）		S＝１：１０	
改修前			
改修後			

備 考	

	株 式 会 社 中 嶋 五 郎 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 登 録 第 1 8 7 1 8 9 号 石 岡 明 彦 設 備 設 計 一 級 建 築 士 証 交 付 第 3 2 0 4 号	一級建築士事務所 青森県知事登録 A1 第900号 〒030-0861 青森市長島4丁目2番18号 TEL:017-723-3501 FAX:017-723-3502	設計年月日 0 5 . 0 9	No. A - 1 0 7	工 事 名 県営住宅（野木和団地）2号棟 屋根・外壁改修工事	図面名称 雑詳細図 1	SCALE 1/10 1/20(A3)



県営住宅（野木和団地）２号棟 屋根・外壁改修工事特記仕様書  
（電気設備の部）

### I．工事概要

- 工事場所**            建築工事特記仕様書による。
- 建物概要**

建物名称	構　造	階　数			建築基準法上の 延面積(㎡)	消防法施行令 別表第１の区分	備考
		地上	地下	塔屋			
２号棟	R C	４			1,815.78	５項（ロ）	既存１棟

- 工事種目（●印の付いたものを適用する。）**

	工　　　事　　　種　　　目			備　考
	宿　舎		屋　外	
●電灯設備	改設一式			
○動力設備				
○電気自動車用充電設備				
○電熱設備				
○雷保護設備				
○受変電設備				
○電力貯蔵設備				
○発電設備				
○構内情報通信網設備				
○構内交換設備				
○情報表示設備				
○映像・音響設備				
○拡声設備				
○誘導支援設備				
●テレビ共同受信設備	改設一式			
○監視カメラ設備				
○駐車場管制設備				
○防犯・入退室管理設備				
○火災報知設備				
○中央監視制御設備				
○				
○				
○構内配電線路				外灯設備を含む
○構内通信線路				
○				
○				

- 指定部分**            ●なし  
                            ○あり     範囲：                                  工期：令和    年    月    日

### II．工事仕様

- 共通仕様**
  - 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印が付いたものを適用する。
    - 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）〔以下「標準仕様書」という。〕
    - 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）〔以下「改修標準仕様書」という。〕
    - 公共建築設備工事標準準則（電気設備工事編）（令和４年版）〔以下「標準準則」という。〕
  - 機械設備工事を本工事に含む場合は、機械設備工事は機械設備の部の特記仕様書を適用する。  
なお、機械設備の部の特記仕様書は（       /       ）図による。
- 特記仕様**  
項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。

章	項　目	特　記　事　項
一    般    共    通    事    項	○適　用　区　分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○ 風圧力 風速（V＝〇） 地表面粗度区分（                                  ） ○ 積雪荷重 建設省告示第１４５５号における区域 別表（                                  ）
	●電気工作物保安規程	東北地方整備局制定の営繕工事事業用電気工作物保安規程を準用する。
	●電気工事事	最大電力５００kW以上の場合においても、第１種電気工事事により施工を行う。
	●機材の品質等	<ol style="list-style-type: none"> <li>本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。</li> <li>下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。 ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員への承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>品質及び性能に関する試験データを整備していること。</li> <li>生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。</li> <li>安定的な供給が可能であること。</li> <li>法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。</li> <li>製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</li> <li>販売、保守等の営業体制を整えていること。</li> </ol>

	機 材 名	製造業者等名
	LED照明器具（一般屋内用に限る。）	/
	照明制御装置	
	可変速運転用インバータ装置	
	分電盤	
	制御盤	
	キュービクル式配電盤	
	高圧スイッチギア（CW形）	
	高圧スイッチギア（PW形）	
	高圧交流遮断器	
	高圧変圧器（特定機器）	
	高圧進相コンデンサ	
	高圧限流ヒューズ	
	高圧負荷開閉器	
	交流無停電電源装置	
	太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）	
	監視カメラ装置	
	中央監視制御（監視制御装置）	

○ 環境への配慮

（１）本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成１２年法律第１００号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和４年２月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

（２）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジｎ－ブチル及びフタル酸ジ２－エチルヘキシル等を含有しない揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

○ 他工事との取合い

施工範囲 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。

○ 耐 震 施 工

（１）設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。  
ただし、重量１ｋＮ以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。

①設計用水平地震力  
機器の重量〔ｋＮ〕に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。  
なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。

設計用標準水平震度

	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上 及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・１階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階、１３階建以上の場合は上層４階とする。

・中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しない階とする。

・水槽類には燃料小出タンクを含む。

・重要機器は次のものを示す。

☐ 配電盤                      ☐ 発電装置（防災用）                      ☐ 直流電源装置  
☐ 交流無停電電源装置                      ☐ 交換装置                      ☐ 自動火災報知受信機  
☐ 中央監視制御装置                      ☐                      ☐

②設計用鉛直地震力  
設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

（２）横引き配管等の耐震支持は、施設の耐震安全性の分類に応じたものとする。

○ 717\*1含有製品調査

イ）撤去機器、器具等についてアスベスト含有製品調査を行い、監督職員に報告する。  
調査範囲（ ☐ ）  
調査方法（ ☐ 型番確認の上、製造者と717\*1 ☐ ）

ロ）下記のアスベスト含有製品の定性分析調査を行うものとし、採取部位及びサンプル数は監督職員と協議する。  
なお、調査にかかる費用は、 ☐ 本工事 ☐ 別途 とする。

●仮設工事	●建築工事特記仕様書による。 ●足場その他 ○別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)の手すり据置方式又は(3)の手すり先行専用足場方式により行う。 ○内部足場 種別 ○脚立、足場板等 ○ ○外部足場 種別 ○A種 ○B種 ○C種 ○D種 ○E種 防護シート ○設置する。 ○設置しない。
●電源周波数	50Hz はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告する。
○はつり	イ)放射線透過検査等による埋設物の調査 ロ)範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。
○非破壊検査	
○あと施工アンカー	イ)あと施工アンカー (接着剤(有機系)) 金属拡張系アンカー (本体打込み式) ロ)試験 性能確認試験 ○行う ○行わない 施工後確認試験 ○行う ○行わない
○撤去跡の補修	機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は既存仕上げと同等の補修とする。
○既存施設等の復旧	施工に際し既存設備、施設等に損害を及ぼした場合は、原状に回復する。
○支持金物・固定金具	イ)屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物(ボルト類)はステンレス製(SUS304)とし、屋外機器のアンカールートのナットにはナットキャップ(樹脂製)を取り付ける。 ロ)振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
○既存壁の改修	○下配盤類の改修等は、製造者等による作業とする。 ○分電盤 ○制御盤 ○受変電盤 ○ ○盤類の改修前と改修後に関連する器具類、回路等の動作確認試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。 ○盤類の工事完了後に、単線結線図の更新を行う。
○総合動作試験	各機器の個別運転後に下記の設備について総合動作試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。 ○照明制御装置 ○受変電設備 ○電力貯蔵設備 ○発電設備 ○駐車場管制設備 ○防犯・入退室管理設備 ○中央監視制御設備 ○
○電線・ケーブル	新設する電線類は、図面に「EM-〇〇」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。
○厚銅電線管	屋外、及び地下ビッドで使用する厚銅電線管のうち特記のないものは「内外面溶融亜鉛めっき（めっき付着量300g/m <sup>2</sup> 以上）」仕上げとする。
○合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管はPFF管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。
○電線本数、管路など	分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。
○インサート	床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。
○フラッシュプレート	○金属製（ステンレス、新金属も含む） ○樹脂製
○フロアプレート	○アルミ製 ○銅合金製 水平調整付プレート（空転防止リング付）とする。
○接地極の種類及び位置表示	図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。
○塗装	○居室に設置する分電盤は指定色塗装を施す。 ○下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。（居室 ○ 廊下 ○ ）
○機器取付高さ	○図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。
○タンブラスイッチ	ネーム付きとする。
○OAフロアー用配線器具の蓋	○アルミ製 ○樹脂製
○無線通信機用OAタップ	特記の無い無線通信機用OAタップは次の仕様とする。 2P15A（接地極付抜き形）×4コード3m（ケーブル付）通電表示灯付
○人感センサー用プレート	照明の人感センサー制御を行う部屋には、下記の注意プレートを設置する。 材質：アクリル 文字：印刷文字 寸法：W=180mm程度、H=50mm程度 参考文例：「人の動きを検知して点灯します。一定時間動きがなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」 注意プレート設置室： ○便所（計 枚） ○脱衣所（計 枚）
○ターミナルユニット付リモコンレレー	天井内に取付けるターミナルユニット付リモコンレレーの設置場所は、原則として点滅系統内の第1照明器具近傍とする。 ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議する。

各 設 備	○LED照明器具	LED照明器具の制御装置記号が特記されていないものは「一般形(LN)」とする。
	○照度測定	一般照明の照度測定箇所は、下記によるものとし監督職員に報告する。 ○明るさセンサが設置される部屋は、センサ1個につき1箇所以上 ○明るさセンサが設置されない部屋は、工事全体で計 箇所以上
	○照度測定 (非常用の照明装置)	非常用の照明装置の照度測定箇所は工事全体で計 箇所以上とし、 監督職員に報告する。
	○分電盤	○分電盤の分岐回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1Pサイズ(100V2PIE, 200V2P2E)とする。 ○埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(PF22)を1本、5個以上の場合(PF22)を2本、天井まで立上げる。 配管バンドとなる負荷には接地端子を設けない。
	○制御盤	

表1「接地極一覧表」			
接地極の種類は下記を標準としEBの長さは1,500mmとする。ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。又、装柱機器及び屋外用接地極の埋設標は不要とする。			
接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
○雷保護用接地	ELA	Ω以下	EP×2
○雷保護用接地	ELA	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-1組
○共同接地	EAE	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○共同接地	EAE	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○A種接地	EA	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○B種接地	EB	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×2
○C種接地	EC	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○D種接地	ED	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
○漏電遮断器(保護用)	EFL	500Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
○構内交換機(保護用)	Eti	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○本配線盤の保安装置	Eai	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○電話引込口の保安装置	Eti	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
○アンテナ保安装置	Eti	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
○拡声増幅器	Edi	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
○防犯装置用	ES	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-1組
○測定用補助接地極	Eo	—	EB(D=10又はW=30)×1
○避雷器用(低圧用)	EIL	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○避雷器用(高圧用)	EIH	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○避雷器用(モテム用)	EMD	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1

表2「機器取付高さ」		
機 器	測 点	取付高(mm)
共通	積算用計器	地上～中心 1,800～2,000
	引込開閉器	床上～中心 1,800～2,200
電	分電盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)
	スイッチ(一般)	床上～中心 1,300
電	スイッチ(自動ドア)	床上～中心 1,300
	スイッチ(和室)	床上～中心 1,200
電	コネクタ(一般)	床上～中心 300
	コネクタ(和室)	床上～中心 150
電	コネクタ(台)	台上～中心 150～200
	コネクタ(厨房)	床上～中心 800～1,000
電	コネクタ(車庫)	床上～中心 1,300
	コネクタ(機械室)	床上～中心 500～1,000
電	コネクタ(屋外)	地上～中心 1,000～1,300
	ブラケット(一般)	床上～中心 2,100～2,300
電	ブラケット(通路)	床上～中心 2,000～2,500
	ブラケット(鏡上)	鏡上端～中心 150
電	壁掛形制御盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)
	開閉器箱	床上～中心 1,500
電	制御用スイッチ	床上～中心 1,300
	試験用接地端子箱	床上～下端 800
電		
電	接地端子箱	床上～中心 500
電	呼出し機(多機能利用用)	床上～中心 900, 400 (各1個)
	壁付インターホン(親機)	床上～中心 1,300
電	壁付インターホン(子機)	床上～中心 1,100
	廊下表示灯(復旧型付)	床上～中心 1,300
電	スイッチ(車椅子用)	床上～中心 1,100
	スイッチ(車椅子用)	床上～中心 900

機 器	測 点	取付高(mm)
	集合保安装置	天井～上端 200
電	端子盤(廊下、室内)	床上～下端 300
	端子盤(EPSなど)	床上～中心 1,500
電	壁付電話機	床上～中心 1,300
	壁付ファクトリ(一般)	床上～中心 300
電	壁付ファクトリ(和室)	床上～中心 150
電	壁掛形時計	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)
	壁付形時計	床上～中心 天井高×0.9
電	壁付形テレビ	床上～中心 天井高×0.9
	壁付フロッピー	床上～中心 1,300
電	情報表示盤	床上～中心 天井高×0.9
	壁付発信機	床上～中心 1,300
電	ヘルプサイン・チャム	床上～中心 2,300
	壁付押ボタン(一般)	床上～中心 1,300
電	テレビインターホン(親機)	床上～中心 1,400
	テレビインターホン(子機)	床上～中心 約1,350
電	壁付インターホン(一般)	床上～中心 1,300
	壁付ファクトリ(一般)	床上～中心 1,300
電	機器収容箱	天井～上端 200
	機器収容箱(EPS)	床上～中心 1,500
電	テレビ端子(一般)	床上～中心 300
	テレビ端子(和室)	床上～中心 150
電	受信機	床上～操作部 800～1,500
	副受信機	床上～操作部 800～1,500
電	機器収容箱	床上～操作部 800～1,500
	表示機	床上～操作部 80









